



〇〇人分

〇好屋書次

〇物類林呼。海録

北邊隨筆

〇破流漫考 谷郷音集

類聚名物考

〇飛州志 〇櫻陰居四談

玉抄子

〇和漢三才工 江島至其談

夏山雜記

廣卷俗談編 川柳子

貞丈雜記

傳詳草 温知集

〇安斎漫考

華安年浪 甲子夜話

大皇都午睡

秋稱王御在
才一酒家

宮員漫録

雜記



大槻文庫

巻二

失考 謬妄 杜撰 附會 牽強 不經 無稽

下ノ 餅市場

より五錢と小戻久野東島永無地場下地場懸派賣買の
目先師の戻りに六十錢と殺み 鐘と三十錢安に寄付
止前四錢と返し止時地方來客地場り賣りに六十錢と仲
二流賣るも九州筋地場確派の買安に買方小口の投物

白米を俵で 酒や醤油を 液體なら樽がいよし樽がなく十匁十匁は五百七十匁
樽で買ふ家庭には秤がよく日用 樽だけの時は一升の酒なら四百七十二匁を秤へて秤
品や郵便小包郵便用には秤がよ八十匁又醤油は中等品なら五百五も宜い
おんし るげふ

大江 佐國 浮田之入替

若狭 大之殿 島於保 保木 大之箱 大飯田 五俵

傳訓 宗 外 本 卷 限

雅言 集 卷 八 抄

雅言 集 卷 七 抄

傳教 錄 林 火 卷 三

日本 百 科 傳 興 卷 六

古 言 語 集 卷 七 抄

諸 語 集 卷 六 抄

活 語 傳 訓 卷 櫻 卷 三 抄

有 語 集 卷 六 抄

古 言 語 集 卷 七 抄

語林 類 卷 八 抄

傳言 集 卷 八 抄

廿 一 洲 語 集 卷 八 抄

言 類 卷 八 抄

傳 言 集 卷 八 抄

道 明 行 卷 八 抄

俗 語 卷 八 抄

寄 語 卷 八 抄

傳 言 集 卷 八 抄

類 言 集 卷 八 抄

書名

失考 謬妄 杜撰 附會 牽強 不經 盈眚

杜撰

杜撰

杜撰

杜撰

杜撰

杜撰

杜撰

杜撰

杜撰

杜撰

杜撰

杜撰

杜撰

杜撰

〇〇八

OXYDIA
墨
田
大

傳訓

雅言

傳教

日本

古語

活版

有傳

古本



後訓行

キヨリ 春
梅外

語林類聚 人

雅言集

人

俚言集 人

雅言集

人

甘戸洲辞典 人

併教辞林

火

古事類考 人

日本百科辞典

人

假名拾要 人

古言

人

道明辞典 人

活版傳記

人

俗語考 人

有曉故實辞典

人

守新全集

古事類考

人

併教辞典

古事類考

人

類聚名物考 人



元言梯 アセム

十古事類解題

諺草 アラゲ

語彙 アマケ

和訓六帖

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

松井辞書ノ目録

ウスマサル

真紅縹子衝巧

ゴシヤク

六吉田 ワラキク

札 シラ 盛喜治木平記

海命溝 ナカ

巧言令色 里仁ナラズ 學子あり

おはたけおわたけ 西子

七射 西子

初刊言海ノ誤

道明ノ女君亦言海ノ注

屈ノ注

法命講ノ意

柏夾ノ注

杜井モアヤル

驗温器 真勝

かまをく奥め天カマスコ校子カマスコ奥

假令 源少女

かまち床間ノ上カマ下ナリ

巧者カウシヤ入リ

かみや依カミヤ女メニニアリン

奏聞カウブン 同ニニアル

あはれアハレ子コめメ 仙セン傳デン者者 比ヒ白ハクアヤル

破鶴カクカ 霍カク

かほカホはハばバさサみ

凍カウルル 女メ 戴カウ

幸カウニ

潜カウクク 自ジ 戴カウ

あまアマニニあハるル

カハアム
コハカラス

Blank table with 10 vertical columns, containing very faint handwritten entries.

和学

文字

後本

真山

虎子
トコ
カシ

同字・意別

人中

中人

上手

頭中

重任

中目

古筆

假名

天宮

御臺所

唐紙

赤紙

手打

侍

番頭

座頭

揚屋

若菜

若菜

上人

香合

茶湯

上方

具物

長カ

風流

山

花道

掛合

櫻

小

花子
名
食

花子
名
食

當今 トウキョウ 名 ナ
大分 オホタマ 名 ナ
隨身 ズクシ 名 ナ
变化 ヘンゲ 名 ナ
平人 ヘイジン 名 ナ
行水 ユキミツ 名 ナ
立場 タチバ 名 ナ
指貫 ササグサ 名 ナ
上書 ウラカキ 名 ナ
目向 メウカウ 名 ナ
人交 ヒトカウ 名 ナ
見合 ミアヒ 名 ナ
兵法 ヘイホフ 名 ナ

施行 セキカウ 名 ナ
仲間 ナカマ 名 ナ
三脚 サンカウ 名 ナ
工夫 コウフ 名 ナ
同人 トウジン 名 ナ
成敗 セイバ 名 ナ
無雙 ムソウ 名 ナ
目明 メアカ 名 ナ

神主 カミヌシ 名 ナ
乾物 カンモノ 名 ナ
出立 イデテ 名 ナ
十分 ジュフブン 名 ナ
好事 カウジ 名 ナ
朝参 アサマシ 名 ナ
聲明 セウメイ 名 ナ
小人 コヒト 名 ナ

令别 レイベツ 名 ナ
間合 マアヒ 名 ナ
人問 ヒトトヒ 名 ナ
家特 カトク 名 ナ
無念 ムネン 名 ナ
合 アヒ 名 ナ
四討 シトウ 名 ナ
酒 サケ 名 ナ

振舞 フリマユ 名 ナ
人足 ヒトタラシ 名 ナ
女房 メナウ 名 ナ
知行 チカウ 名 ナ

土砂 ドカタ 名 ナ
前髪 マヘカミ 名 ナ
苦 ク 名 ナ
止 トム 名 ナ
下下 ゲゲ 名 ナ
毛受 モウケ 名 ナ
文字 モンジ 名 ナ
有徳 ウトク 名 ナ

数日 スツ 名 ナ
数年 スネン 名 ナ

渡世 ワタセ 名 ナ
水鏡 スイキョウ 名 ナ
牛車 ウシクルマ 名 ナ
着御 ツキミ 名 ナ

着 ツキ 名 ナ
留身 ルミ 名 ナ
植物 シヨクブツ 名 ナ
一時 イツトキ 名 ナ
一花 ヒトハナ 名 ナ

川越 カハコシ 名 ナ
通夜 ツウヤ 名 ナ
草卧 クサヰ 名 ナ
出家 シュツカ 名 ナ

大門 オホモン 名 ナ
龍頭 リウダウ 名 ナ
草卧 クサヰ 名 ナ
出家 シュツカ 名 ナ

葉子

まろくろ

かきり

おまろ

おまろ

おまろ

おまろ

おまろ

おまろ

おまろ

例 言ハ悔リ又ハ人ニ怒ラヌ又ハ海落

相争ヒ

相争ヒ

相争ヒ

相争ヒ

相争ヒ

相争ヒ

相争ヒ

相争ヒ

相争ヒ

根岸木村製

同語ニツアル和歌

古今秋上木間瀾

長元八年三十箇歌合

各フマテヤメテ命ノ惜ミケバ恋ニツル人ノ命ナリナリ

神垣王垣 雅集四十回

日暮一ノ夕暮 四七オ

照ル 照ラヌ ナムラレニアリ

為忠百首下 小夜深ケテ夜オモミヨク 照ル月ニ名ニケリ大庭ノ秋霜

玄王集 日教ヲ野原竹俵存良深 別々ニ袖ノ西路ノ草スリ

拾玉集 三思フ下何ソト思ハ人ニカナ

先恭^年有^五吾^ガ笑^子ガ^来ベ^キ夜^{ナリ}ヤ^ガ不^ノ雲^ノオ^コナ^ヒ今^コ夜^ニル^シモ
後^始遠^哀傷^ナト^テ云^隠ル^ムハ^ハリ^トカ^シ澄^ル月^モ凡^夜
新^葉垂^三想^ハレ^カキ^ヤル

古今^冬今^{ヨリ}ツ^ギテ^降ウ^去我^知ル^スキ^オモ^ト降^ウ白^雪
万^九二^一雲^隠レ^雁鳴^ク時^ハ秋^ノモ^ミク^片待^ツ時^ハ過^クベ^レ
六^帳一^世中^ト思^ヒシ^セカ^ケタ^ルカ^ナキ^カハ^世ニ^ゾア^リケ^ル
為^兼世^也

古今^夏ツ^キマ^ツ花^掃ノ^香ヲ^カバ^昔ノ^人ノ^袖ノ^香ニ^スル
万^十四^一妹^ガ病^ハ床^ノマ^リニ^岩ケ^ル水^モガ^モヨ^リ入^リテ^は持^クモ^シ
拾^遺悲^逢フ^トハ^カサ^サリ^スル^ニド^リコ^ノニ^タム^月モ^逢ハ^ジト^ヤル

万^十四^一三^六五^三云^モガ^モ大^今日^行キ^テ

拾^遺雖^吹松^ガ枝^ニハ^ヨク^枝

古^ハト^ヤリ^ミコ^ノ功^ヲ今^日集^ヒミ^刀許^タキ^仰ク

万^八九^一朝^露朝^露ハ^重山^越エ^テセ^トト^ギス^都花^ベカ^ス鳴^キテ^は越^エキ^又
教^長集^聞ク^スサ^カト^聞ク^ハ夜^ノ寒^ミ鳴^クハ^秋マ^アレ^ト聞^ク

万^十八^九行^方ナ^ク身^ヲた^れま^ほと^とぎ^す鳴^きし^やた^らハ^カク^ヤレ^ヌガ^ム
万^七廿^一青^少葉^散々^山辺

大^和物^議六^イサ^サニ^クク^屋ニ^ヤハ^蘇ク^キ野^今ス^クレ^レ君^ニヤ^ハマ^テヌ

大^和物^議六^イサ^サニ^クク^屋ニ^ヤハ^蘇ク^キ野^今ス^クレ^レ君^ニヤ^ハマ^テヌ

古田東伍氏の座右ニ書ハ稽^キ 聖^ノ方^ノ不^レ唯^ニ 一^ノ部^ノ言^ハ海^ノ手^ノ離^レサリ
ニト^ノ聞^ク

関根正由氏ハ千古^ノシ^テ見^ル海^ノ手^ノ離^レニ^テ言^フ海^ノ手^ノ離^レハ
レタル^ノミ^ニハ 總^ノ千^ノ十^ノ未^ノサ^レチ^ト云^フ

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

以下
5 丁
白紙

トクク
天正
天正
天正

天正

天正
天正
天正

天正
天正
天正

天正
天正
天正

天正

天正
天正
天正

天正
天正
天正

天正

天正

天正

人名の考証

澄河 乃其

江談抄天曆皇弟澄河乃其臣也其初上封人云云空由叙行時人難云於大所由
名可及著道也叙行事猶止由以此事在年可及年云
著道皇弟

能本 道下依理行成

叙人 基修佐能叙成定家之隆昭長明 定家為隆之伴云

二身 實定家威雅叙 輕羅義臣

役小角 時平滿仲賴光晴明 輕政保昌

是善小角

けふてふ 法也 セラモノ 道隆 てふてふ 蝶 セラモノ

漢 邦 職 佛 羅

東 堂 天 通 器

籍 抄 果 符

木 抄 水 塚 著

書 海 抄 取 言 海 抄

言 海 抄 取 言 海 抄

結後紀九

佛三神三由上言言草此同本言言草二通侍リテモヨコシテ言言草二備ス

近江石山ノ奥ノ紅住庵 昔昔ノ紅住庵ノ記アリ

水滸傳 卷七十四ニテ金重ノ歎 以下ノ羅置中

光 陸前車懸井和室仙舟辺ニ金氏人テ以 見氏ノ家ヲテリ
コレヲカケコンイマコシ 此ノ名コトヲ

傳典

洋世ノカマヨ

古世ノ

且カクニ

セ下能ク

走

斗

者不判

木

坪

石

標海一得ノ小界母ヲ指シラハセマシテ直録僅宜其記ニ北石後主運啓大石曰有

ノ陽得見家々無縁永永ニ注ニ荷諸王呼婦母為家々トテ云ハルアルニ橋守新

(俗譯者)ヨリ出タルトナラル恩同ノコレノコト不見ニ轉ルヘキイヒナシハ方ノ言ハルニ其由アルニ

柳

柳

春明代四年十月 山越ニテ海屋ルレニ面中今ヲ城ノ内ニテテマシ

鬼ニ狂ル如シ

古ノヤウノミナノ功

ウツシヤラフ
遷^ニシテ 崇^ニ神^ノ 祝^ハシ

田^ノ草^ノ川^ノ 甲州^ノ 辰^ノ 苗^ノ 氏

新家^ニ 伊勢^ノ 三^ノ 志^ノ 丹^ノ 紫^ノ 家^ノ 村

多^ク家^ニ 神^ノ 名^ノ 女^ノ 藝^ノ 郡^ノ (有^リ 事^ト 甚^ク) 多^ク家^ノ 神^ノ 社^ノ 神^ノ 主^ノ 大^ノ 香^ノ 氏

淡^ノ 川^ノ 伴^ノ 五^ノ 郎^ノ 子^ノ 淡^ノ 川^ノ 友^ノ 右^ノ 衛^ノ 尉^ノ 京^ノ 都^ノ 人^ノ 平^ノ 内^ノ 道^ノ 人^ノ 伴^ノ 伴^ノ 五^ノ 郎

明^ノ 惠^ノ 上^ノ 人^ノ 高^ノ 辨^ノ 真^ノ 喜^ノ 寺^ノ 元^ノ 月^ノ 十^ノ 九^ノ 二^ノ 叔^ノ 六^ノ 十^ノ 四^ノ

明^ノ 惠^ノ 幼^ノ 年^ノ 八^ノ 首^ノ 治^ノ 丁^ノ 一^ノ 二^ノ 家^ノ 庭^ノ 子^ノ 孫^ノ 所^ノ 岩^ノ 崎^ノ 文^ノ 屋^ノ (八^ノ 年^ノ 三^ノ 月)

大^ノ 久^ノ 保^ノ 西^ノ 山^ノ 名^ノ 忠^ノ 壽^ノ

西^ノ 川^ノ 伴^ノ 五^ノ 郎^ノ 子^ノ 淡^ノ 川^ノ 友^ノ 右^ノ 衛^ノ 尉^ノ 京^ノ 都^ノ 人^ノ 平^ノ 内^ノ 道^ノ 人^ノ 伴^ノ 伴^ノ 五^ノ 郎

明^ノ 惠^ノ 上^ノ 人^ノ 高^ノ 辨^ノ 真^ノ 喜^ノ 寺^ノ 元^ノ 月^ノ 十^ノ 九^ノ 二^ノ 叔^ノ 六^ノ 十^ノ 四^ノ

日本^ノ 大^ノ 日本^ノ 宗^ノ

大^ノ 日本^ノ 宗^ノ

小野妹
西園三妹
蘇因高
根野保子
百三二
百五

方以通平
破紙土ノ言文
佳化ハ但志有若枚

多子
大日本
日本

著聞集自序建長六年橘南素
跋成善南利没也

相通名 破紙漫書一十五

江談欽ニ 支名唐名相直名書本
藤明衛 堂直アキラ 六著業明衛是也

佳化和親ニ言平 沼盛内七首 池田部保名著好字 區部式凡池田部内即見昔名著
用二字必取嘉名一

本居五七書也
江上平阿山言出見此書
今作治一ツツリイカサシラシラニ

大和山山 山ノ如海海 上師語 山ノ若到 山ノ如通 山ノ如通

山ノ如通

山ノ如通 山ノ如通 山ノ如通

山ノ如通 山ノ如通 山ノ如通

山ノ如通 山ノ如通 山ノ如通

山ノ如通 山ノ如通 山ノ如通

山ノ如通 山ノ如通 山ノ如通

山ノ如通 山ノ如通 山ノ如通

事牛能事古以底ハ我知海老通事ナリ海老通事ナリ
新云其意

電話番號 四九八九
ヨクハク

上総、大東崎、下総、大次崎、八戸、坂東路、一里九丁、里了

寺也 他 鯉 魚 断 屋 慰 子 子

大正二年三月廿一日言海増行倚頼ニ此ハ油分三人ノ廣間ニ合年日ニ至ル

大正二年三月廿一日言海増行倚頼ニ此ハ油分三人ノ廣間ニ合年日ニ至ル

大正二年三月廿一日言海増行倚頼ニ此ハ油分三人ノ廣間ニ合年日ニ至ル

力 破 裂 音 沖 繩 吸 スプル 鹹 ミ、フカラヤ

才 擊 撞 音 推 古、活ヨリ、今ニ奥羽雲ハ九公ニ存ス

九 唯 音 室 四、代ノ者、文 科 伊 里 保 物 語、ハ、此 及 音、ヒス

掛 草 芳 政、遠 去、因 去、政、ハ、壽 附、百 五、冬、掛、後、家

宇 和 島、匠 富 治、大 胆、真 野 長、女、次、ノ、合、ス

趙子昂花書銘之數字二寸四分^五有角大坂耕種園花書印

青柳文庫花印 雜記「文字」七號

洋人ブリニグー以言海ニ接テ其英辭典ヲ作ル

狩野勝太郎 京新町上長者町上^{幸南} 櫻園ノ像 盤水之号 自書ノ印

アリ 大正九年 如書先見 此ノ見

矢三市ノ明治四十五年七月大學院卒業 數年格リテ稱シ奉リレニ北背少前ノ

カマシニ髪ヲ白クシテニタルニ勤テ幸ナリ 日守^海死年ノ心ヲ痛サシキレテ稱シテ

ラセシニ程ナク昇テ政ノ世傳トナリ

余十歳ニ及ビ五ニ他ノ作リナニ四五歳ニ至リ長年古物ヲ作リ四五十年漢文ヲ海文ヲ

書リ 上ノ三抄ノ待合 五十ノハニ 點ニテ序テモ其及ヲ持ツテ幸テ下ナルノ

於

計ニシテ... 大坂... 櫻園... 盤水... 自書ノ印... 大正九年... 矢三市... 狩野勝太郎... 洋人ブリニグー... 青柳文庫花印... 趙子昂花書銘之數字...

大坂耕種園花書印... 櫻園ノ像... 盤水之号... 自書ノ印... 大正九年... 矢三市... 狩野勝太郎... 洋人ブリニグー... 青柳文庫花印... 趙子昂花書銘之數字...

田... 櫻園... 盤水... 自書ノ印... 大正九年... 矢三市... 狩野勝太郎... 洋人ブリニグー... 青柳文庫花印... 趙子昂花書銘之數字...

田歌 たらた 田植たらえ 出浮へうく 地馬 地牛
 氣津澤 仕女 さまひ
 狩野村の京舞の上 古昔山古曲 舞水
 元馬天竺間武田氏ヨリ松花ニテ作たぐひナキアリト云 滝井忠次。枯レニ成田
 首を明 姥持山。照月夕見て

十一テ神童 十五テ才子 二十過キハ 只一人

於 二

老 子 号

廣 東

船 山

村 山

伯耆曾根車屋櫻樹雨

山 有 二 山 有 二 山 有 二

と 二 山 有 二

山 有 二 山 有 二

山口村 山城 十六島 言 小島 陸村

東海村 出書 言津彦 数羽後鳥 夏油 陸子 多言 芽咄

天 春

世 射 終 着

大 神 宮 住 二 山 有 二

山 上 鏡 球

山 有 二 山 有 二

山 有 二 山 有 二 山 有 二





生醉五匁

野中兼山が土佐藩で設けた珍妙な節酒

中村歌右衛門談

亞米利加で禁酒令が出たと云ふので、禁酒と云ふことがすんだことで、大層ハイカラなことの様に取られますが...



髪の色を美しくし、色澤を烏の油に似せしめても、その油に優ること数等上でございます。



顔三匁、千鳥足十匁、牛膝五匁と云ふ諸薬が残つて居ります。之は節の法ですが、同時に賞の法もありましたので...

家庭治療法 小山田醫學士編

補償保障

博士會 何人カ

Handwritten text in vertical columns, likely a list of names or a record, including characters like '如堂' and '明後'.

日活直營
キネマ
俱樂部

第 七 卷
八 卷
第 一 二 七 日 一 期

百萬懸賞

三國風

第七篇 天空高く二巻
第八篇 危機一髪二巻
第九篇 火焔の中心二巻

明駒封切
日活直營
電氣館

此書...
...

秘結...
...

竹澤道一君
博志...
...

中澤...
...

朝暮...
...

大槻恒輔...
...

種本...
...

種上...
...

貞毅院様より遊書後五日河如雲先生の秋考兄弟限日ニ文替
 木挽所學自任是より高藤ノ東行のニ其基考より
 樂水先生ノ重訂解體此書ヲ近キ次入澤道吉ノ讀ミテ
 今ノ獨逸ノ書ニ對スルニ諛譯ナシトニ感服セリト三田吉川遊書
 有ト新如雲先生遊書ニキ
 明治維新前江戸有名ナリシ學刺師千葉周作ノ神田お玉が池
 仔ニナリキ

鞠ノ圖 馬道ノ圖 カネノミヤ 中ノ五ノ五

馬道ノ圖
阿伏木ノ書 取任木子傳 みづら
五ノ五

高藤ノ丸ニ之ノ字ヲ加フル 梅園日記一ノ十

万十四ノ竹抄卷九系ノ五ニ美知能ノ可考到少女信トシ但解ク
 阿伏木ノ書 取任木子傳 五ノ五
 梅園日記一ノ十

阿伏木ノ書 取任木子傳 五ノ五
 梅園日記一ノ十

大坂、藤田野矢と云う天保中切支丹ニテ卒死 存命ニテヒキシ

巻者ニテ即下
切支丹婆ト係ナシ

東溟勝義家ト人ノ著ニ和蘭字畧録ト云アリ寛保四年作ナリ

ト云フ一也書キテ治大正十年二月

平賀源外拂ヒノ製ス興ニ坂取ルルマアストカアトル

本草ノ類ヲ入依ニ包ニ云ワケ オーストテエル

浪上ノアエフトホエル物最ニ其オ、スホトワール

西國

オレ 己 ステニ 己 ナニ支ヌ

此ガ 雪裏江豊前仲津郡此見備中此事(女佐佐)海老
此ガ 廣野王曰此口野也大神宮儀云帳此度國(計厨村)阿身加
皆而射計留

コ 己 オレ 己 ヤム 己 ナニ支ヌ

人九ノ礼 火事ト云ト守九 火事ハ 人野

駒野本イダ侍人 十柱内下居

オレ 己 ステニ 己 ナニ支ヌ

カマフナ

花子 花枝 虎子 菱花

淺見光見 丸返冷區並道不道 後要義公儀光彰

かきぞき 老ひつて ちまひき 玉穴
取引はん

明治十年九月戦後一日晴海舟に乗詰りし事アリし時西郷

吉之助(隆盛)ノ人物ノ唯一言ノ由神承リタリト言ヒシニ寸考ヘテ居

名流ガ「お侍さま」云々ト云フニ又政治家包上各大ナリタルベカラヌ

米一升 魚砂搗 三十八文 混砂搗 三十六文五分

木林くわう(妹) 文久二年生五十一歳 宮崎リウ(妹) 元治元年生五十六

年(大正二年) 森松園ノ孫女余ガ妹ヤリ生カサリ

酒井抱一 俳名杜陵又屠龍

日英博覧會 明治軍醫ナリ我ガ家ヨリ 二回訪レテ 甚ク喜ビテ

幕府ノ大奥女中 四名「おふち」ト云フ 三名

おふち名 腰元(別名) 源次名(はしたま)

後合直澄 明治三十四年言海、水四倍、出利ヲ待テ死セリ

後合直又云、言海、言葦、可粗末、切又又卷末、至ルホド、綿密ヲ加フ

俗説、辨、画史云、思、馮永功、字世勳、有日本著色山水画在子云

有日本著色山水画

後名妙庵國師、伊具、靜、子、御、志、フ、今、筆、園、村

向、那、麻、續、綿、を、み、(麻、續)ナリ、今、小、齋、村、ナリ

宮、城、和、又、云、七、合、ル、ル

福、徳、元、年、佳、年、強、後、土、南、門、常、進、也、云

天、武、十、年、遣、多、社、使、貢、多、紅、圓、圖、去、京、五、百、里、居、外、草、草、海、中

著、之、船、知、所、居、向、一、天、平、勝、應、九、年、勅、大、三、年、計、去、天、平、七、年、遣、高、橋、牛、養、永、至、島、掛、牌、如、今、殘

若、手、知、開、伊、那、婚、妻、後、人、伊、藤、頼、建、備、中、新、羅、玉

耶、馬、溪、山、陽、最、之、月、際、林、堂、玉、驪、志、遠、曾、我、耐、軒、天、龍、峽、坂

谷、朗、廬、因、柳、州、抄、子、卷、三、長、江、廬、人、云

〇、仙、臺、廿、秋、真、保、八、年、主、作、者、不、知、仙、臺、城、下、地、名、由、來、抄、本、伊、藤、頼、建、云

一、勾、當、の、基、之、昔、花、村、勾、當、住、居、し、故、云、山、明、曆、三、年、在、命、也

一、三、堤、園、之、基、之、指、當、之、基、者、ナリ、寺、之、方、十、丈、字、東、南、の、角、泉

田、之、雲、石、の、中、也、之、勾、當、の、基、出、雲、石、及、南、下、リ、ナリ、定、禪

寺、の、西、馬、場、ナリ、石、塔、見、也、寺、之、方、十、丈、字、東、南、の、角、泉

一、若、林、寺、永、永、二、年、ナリ、尚、城、以、昔、請、初、同、寺、以、城、出、年、一、若

林、之、強、也、云

大佛阿
部階修
建所
言傳つて
復中
康平己
ハ以代前
ナリ

一本以所 南材本所西裏より云、^{此地ハ}寛永十四年の頃忠宗公

湖代若林津所西裏の地より遊女を移し遊女所とあり十二

三所建つ其後南の丁をふさぎ北の方一方向とあり萬治三

年の秋遊女御迄度とあり

小け々 遊女所南津所西裏の地より寛永五六

年の頃^此忠宗公寛永五年ニ若林へ移しより忠宗公湖代

始り同十四年頃南材本所西裏合せ本所より移さ

一恋慕小沙の昔遊女所への通る故云ふ今も其名残み大

徳立をさし久きあり

又一説ニ連坊小沙といふ是ハ寺小沙といはれり連んば小

海あり

一二十人町とあり南名懸丁東車地角より櫛ヶ岡下を

通る此所西入口少東ニ思業橋を昔谷地十海八番

丁地ニ遊女所あり頃此地の地より思業をへ通ひしや

と云ひ侍ふ

一大佛 同心所等覺院ニあり貞享元年建つ

五百羅漢渡川則是一千影 自名

又六群陀鉢山終見八尺光 伯悽

後素庭前 自名 存紅日下露 鶴梅

駒引鏡 自名 蝶 蝶梅 青草紅葉 白細根 大根 鶴梅

山猫 (德傳也) 海鼠 以上 理齋隨筆 志賀思

中瀬 中瀬 辰 あまのつゆ

